

特別会計

国民健康保険

問 国保診療所から他病院への救急搬送は何件か。

答 刈田病院へ8件、中核病院へ2件、高島病院へ1件、置賜総合病院へ1件の計12件となっている。

簡易水道

問 関地区上水道の水温が高いようだが水温上昇の原因は。

答 ステンレスの水槽としたため若干の温度上昇があったが基準値内となっている。

町営バス

問 乗客のないバスが目立つが、運行時刻や本数の見直しなど検討が必要では。

答 朝の時間帯以外利用者が少ないので全体的な見直しが必要。運行時刻更新時に検討する。

総括質疑

問 七ヶ宿スキー場の経営状況と職員確保策は。

答 経営状況としては問題ないとみている。職員は他からの派遣や広報などで周知し、早目の対応をするよう指導していく。

問 や・すまっしえ施設などのコロナ対策は。

答 県・国で示された感染対策を講ずるよう指導している。細部はまちづくり（株）と情報交換しながら取り組んでいる。

問 税收減の要因や確保策は。

答 主にダム交付金の減少。町民の所得向上に繋がるような施策の検討や太陽光発電の設置により、更なる税收確保を期待したい。



▲決算特別委員会

問 今後の農林業政策や、新たなライスセンター設置の進捗状況は。

答 若者が農林業に従事できるようにコロナ対策と合わせ支援をしていく。新たなライスセンターは第3期ほ場整備完了までに設置できるよう進めている。

問 指定管理施設の委託料が増加しているが。

答 町がお願いしている施設を将来的にはまちづくり（株）が一本で経営していけるよう準備をしている。雇用の場の拡大が現時点での最大の効果と考える。

監査委員意見書（抜粋）

令和2年度の決算審査に当たりましては、法令に定められた権限と責任において、誠実かつ厳正に審査いたしました結果、審査に付された各会計の決算書等の計数は正確であり、その内容についても全般的に適正妥当なものと認めました。

はじめに、新型コロナウイルス感染は首都圏を中心に厳しい状況が続いています。本県においても増加の傾向にあり、町では数件の感染が発生いたしましたが、行政の適切な指導と町民各位が「新しい生活様式」の実践に努めていることで、拡大防止が出来ているものと考えられます。

また、5月から開始された感染予防の柱でもあるワクチン接種体制の構築に向けた全庁挙げての取り組みに御礼を申し上げます。

木材チップ生産施設整備関係事業は、生産施設造成工事、生産施設新築工事それに関連するトラクター、けん引式移動チップパー、ホイールローダー等の機械の導入が図られております。

平成元年に発生した集中豪雨による災害復旧事業は大石川原頭首工、田堀沢川護岸をはじめ、町道湯原稲子線、林道西ノ入山線等の工事が全て完成に至っています。

滞納額は減少傾向にありますが、引き続き中断のない滞納整理に積極的に取り組んでいただくよう要望します。

本町は財政健全化判断比率からも読み取れるとおり健全な財政運営がなされておりますが、新しくスタートした「第6次七ヶ宿町長期総合計画」及び「第2期七ヶ宿ふるさと創生総合戦略」の実践に向け現状の分析と将来を見据えた財政運営に努められることを提言いたします。

代表監査委員 渡部孝志

決算特別委員長審査結果報告書（抜粋）

令和2年度七ヶ宿町一般会計外8特別会計が決算の審査に付託され、全般的な事項及び内容について詳細な審査の結果いずれも妥当なものと認め、全員一致で認定することに決定いたしました。

なお、町税等の滞納については、今後も情報を共有して職員一丸となって滞納整理に当たっていただきたい。また、「第1期ふるさと創生総合戦略事業」により建設されました各施設においては、コロナ禍の中ではありますが、町内及び町外者の利用促進を行うとともにPRの充実と、計画時の目的に添うよう努められ、国の財政状況を鑑み、なお一層の堅実な行政運営を図られますよう要望いたします。

更に、令和2年度完成のバイオマスチップ生産事業は、初期の目的が遂行できるよう鋭意努力していただきたい。

最後に地域おこし協力隊の新たな取り組みであります起業型については、町の活性化に繋がるものと大いに期待し委員長の報告いたします。

決算特別委員会 委員長 吉田 修